

利 産 第 1 3 2 2 号

平成 2 0 年 1 0 月 1 6 日

国土交通省道路局長 様

利尻町長 田 島 順 逸



今後の道路行政についての意見・提案の提出について（回答）

このことについて、別紙のとおり提出いたします。

① 道路行政全般について改善すべき点、要望や提案など

北海道利尻町

・特に自然災害（地震、津波、豪雨、高波、高潮等）に強い安全な道路整備、道路構造や作工物等

・高齢者、身体障害者、子育てに配慮したバリアフリー化や環境との調和ある道路整備

・効率的な道路規格（延長、幅員等）、構造等による道路建設コスト削減の見直し

今後の道路行政についての意見・提案

②－１ 地域の現状と抱える課題

様式 ②

北海道利尻町

○ 現状	○ 課題
・冬期間における道路の防災対策と通行車輛等、利用者の安全性を確保し、適格な維持管理のため防雪柵の整備を行なっている。 ・地震、津波、高波、高潮に強い道路整備（局部改良等） ・道路に沿って電柱や電線が設置されているが、自然景観の面で支障がある。 ・離島と本土間において全ての物価が高く、これが解消又は軽減され、本土並みの島民生活ができることが最も重要課題とされている。	・今後も一層促進して欲しい ・同 上 ・一定区間の電線の地下埋設によって自然景観が維持されるものと思う。 ・離島（外海）が国家、国民的に果たしている役割を考慮していただき、離島航路（稚内～利尻・礼文島）を「道路」と位置付け、本土と離島間の車輛運賃から生ずる物価の格差を解消又は軽減できるように、道路一般財源の中で措置できるよう検討願いたい。

②-2 地域の目指すべき将来像

本町は北海道の最北端の離島で昭和49年に利尻礼文サロベツ国立公園の指定を受け、以来観光の島として多くの観光客が来島している。

近年車輻の大型化や交通量の増加に伴い道路幅員の拡幅や歩行者保護のため歩道の整備及び道路周辺の環境整備と緑化対策が求められている。

本町の幹線である道々については、市街地区域の中心道路としてふさわしい快適空間の確保並びに拡幅整備が望まれるほか、町道についても居住空間の拡大や整備、又は、各種公共施設等の新設、誘導整備などの動きを見極めながら、交通安全の確保を含め、人中心の道路整備を基本にした計画的な整備推進と、冬期間における交通確保のため、除雪体制の強化が課題となっております。

世界各地において地球的環境の変化による地震や風水害等多くの災害が発生しており、離島という地理的条件の中で海岸線に沿って集落が点在している本町では、津波・高潮等、災害時には複雑かつ多様な事態を引き起こし、住民の生命財産に多大な影響を及ぼすことが予想されることから、不測の災害時に対応する避難路の整備や防災幹線道路の早期整備が望まれています。

今後の道路行政についての意見・提案

③道路施策の重点事項(代表事例、期待する効果や評価等)

様式 ④

北海道利尻町

○重点事項	○代表事例	○期待する効果や評価	○その他
・防災対策	防災幹線道路の整備	本町の幹線道路であります道々は1路線であり、災害発生時に道路の決壊や寸断された場合代替路線がなく地域住民の孤立化が余儀なくされ、又救援活動や災害防止対策に重大な影響が危惧されることから防災道路の整備が求められている。	
・観光支援対策	外国人観光客に配慮した道路案内標識の設置	最近では海外からも観光客が訪れております。レンタカーの普及などで、旅行者にとっても走りやすい道路環境整備が求められており、わかり易い道路案内標識が設置されることにより、特に外国人観光客に対する支援がなされるものと思われる。	